

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-321624

(43)Date of publication of application : 11.11.1992

(51)Int.Cl. A61K 9/70
A61K 9/70
A61K 31/135
A61K 31/19
A61K 31/215
A61K 45/00
//(A61K 31/19
A61K 31:135)
(A61K 31/215
A61K 31:135)
(A61K 45/00
A61K 31:135)

(21)Application number : 03-116732

(71)Applicant : HISAMITSU PHARMACEUT CO
INC

(22)Date of filing : 19.04.1991

(72)Inventor : NAKAGAWA AKIRA
HIRANO MUNEHICO
TAKADA YASUNORI

(54) ANTIPHLOGISTIC ANALGESTIC PLASTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide an anti-phlogistic analgestic plaster having excellent drug ingredient releasability, skin permeation amount, skin permeation degree and persistent and constant volume drug ingredient releasability even when attached for a long period.

CONSTITUTION: A plaster contains styrene-isoprene-styrene block copolymer, crotamiton and an anti-phlogistic analgestic drug ingredient as essential ingredients. Slightly soluble 4-biphenylacetic acid is most preferable among the antiphlogistic analgestic drugs, and a combination thereof with the styrene-isoprene-styrene block copolymer and the crotamiton gives the most preferable anti-phlogistic analgestic plaster.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-321624

(43) 公開日 平成4年(1992)11月11日

(51) Int.Cl. ³	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 9/70	3 4 1	7038-4C		
	3 5 2	7038-4C		
31/135		8413-4C		
31/19	A A H	8413-4C		
31/215	A D A	8413-4C		

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平3-116732	(71) 出願人	000160522 久光製薬株式会社 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
(22) 出願日	平成3年(1991)4月19日	(72) 発明者	中川 晃 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地 久光製 薬株式会社内
		(72) 発明者	平野 宗彦 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地 久光製 薬株式会社内
		(72) 発明者	高田 恭憲 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地 久光製 薬株式会社内

(54) 【発明の名称】 消炎鎮痛貼付剤

(57) 【要約】

【目的】 薬物放出性、皮膚透過量、皮膚透過率及び長時間貼付でも定量的に薬物放出が可能で持続性に優れる消炎鎮痛貼付剤。

【構成】 スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体、クロタミトンおよび消炎鎮痛薬を必須成分とする貼付剤。尚、消炎鎮痛薬の中でも特に難溶性であり4-ヒフェニル酢酸が最も好ましく、スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体及びクロタミトンとの配合処方でも最も好ましい消炎鎮痛貼付剤となる。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体、クロタミトン及び消炎鎮痛薬を必須成分とする消炎鎮痛貼付剤。

【請求項2】 スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体5〜50重量%、クロタミトン1〜20重量%及び消炎鎮痛薬0.1〜10重量%を必須成分とする消炎鎮痛貼付剤。

【請求項3】 消炎鎮痛薬等が4-ビフェニル酢酸または4-ビフェニル酢酸エチルエステルであることを特長とする請求項1または請求項2の消炎鎮痛貼付剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はスチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体、クロタミトン及び消炎鎮痛薬を必須成分とする消炎鎮痛貼付剤に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 消炎鎮痛薬を含有する貼付剤において、基剤として天然ゴム、ポリアクリル酸系のポリマー、合成ポリイソブレンゴム、ポリスチレン・ポリブタジエンゴム、ポリイソブチレン、シリコンゴム、スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体等の親油性ポリマー、テルペン樹脂、石油樹脂、エステルガム等の粘着付与剤、プロセスオイル、ポリブテン、流動パラフィン、ヒマシ油、綿実油、バーム油、ヤシ油、ラノリン等の軟化剤、亜鉛華、二酸化チタン、シリカ系の充填剤の各基剤を適宜配合処方した例は当業者において広く知られているところである。また消炎鎮痛薬の中でも4-ビフェニル酢酸及び4-ビフェニル酢酸エチルエステルは

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記に記載した公知又は周知の貼付剤処方では消炎鎮痛貼付剤としても薬効成分の消炎鎮痛薬が基剤や溶剤等に対する溶解性が悪く、結晶析出の発生、経皮吸収性、薬効発現性、薬効持続性等において充分ではなく生物学的利用率の点で問題がある。又、消炎鎮痛薬の中でも難溶性の4-ビフェニル酢酸又はそのエチルエステル化合物についての貼付製剤はほとんど検討されておらず、しかも、ゲル軟膏剤又は注射剤のみで定量的投与方法としては問題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、前述した問題点を解決すべく鋭意研究した結果、スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体、クロタミトン及び消炎鎮痛薬を必須成分とする配合処方とすることにより、解決しうることを見出し本発明を完成させたものである。特に消炎鎮痛薬の中でも4-ビフェニル酢酸（一般

2

名：フェルピナク）はアルコール類、水、グリコール類、イソプロピルミリスレート等の各種溶媒に不溶又は難溶であるため、各基剤と配合しても消炎鎮痛薬である4-ビフェニル酢酸が十分に溶解せず結晶の形で基剤中に取り込まれ、皮膚に対する吸収及び薬効発現性が思わしくなかった。そこで鋭意研究した結果、意外にもクロタミトンが極めて溶解能力に優れていることを見出した。又、クロタミトンと各種親油性ポリマーとの配合についても種々検討したところ、スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体との配合が最も好ましいことを見出した。又4-ビフェニル酢酸エチルエステル（一般名：フェルピナクエチル）を配合しても同様に好ましい結果を得ることを見出した。

【0005】 更に本発明の各基剤の配合処方をより詳細に検討したところ、スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体5〜50重量%、更に好ましくは10〜30重量%、クロタミトン1〜20重量%、更に好ましくは2〜10重量%、消炎鎮痛薬0.1〜10重量%、更に好ましくは0.5〜5重量%からなる配合処方とすることにより最も本発明の効果を現すことを見出した。

【0006】 尚、消炎鎮痛薬としては、すでに市販されている薬剤あるいは治験薬として臨床されている薬剤を意味し、例えばインドメタシン、ケトプロフェン、フルビプロフェン、ロキソプロフェンナトリウム、ジクロフェナクナトリウム、ピロキシカム、メロキシカム、ベルモプロフェン、ロルノキシカム、ケトロラック、モルヒネ、ブプレノルフィン、ブトルファノール、ペンタゾシン、フェンタニール、エブタゾシン等が挙げられる。

【0007】 本発明の貼付剤には、上記必須成分に加え従来公知の酸化防止剤、例えばジブチルヒドロキシトルエン等、軟化剤、例えば流動パラフィン、ヒマシ油、綿実油、バーム油、ヤシ油、ラノリン等、粘着付与剤、例えばロジン系樹脂〔エステルガム（荒川化学）、ハリエスター（藤摩化成）、ハリタック（藤摩化成）〕、テルペン系樹脂〔YSレジン（安原油脂）〕、ピコライト（ハーキュリーズ）〕、石油系樹脂〔アルコン（荒川化学）〕、レガレッシ（ハーキュリーズ）〕、エスコレック（エクソン）、ウイングタック（グッドイヤー）〕、フェノール系樹脂、キシレン系樹脂等、無機充填剤、例えば酸化亜鉛、酸化アルミニウム、二酸化チタン、シリカ類、酸化マグネシウム、酸化鉄、ステアリン酸亜鉛等の配合が適宜適量含有される。

【0008】 又、本発明の支持体としては、薬物の放出に影響しないものが望ましく、伸縮性及び非伸縮性のものが用いられる。例えば合成樹脂膜としてポリエチレン、ポリプロピレン、ポリブタジエン、エチレン酢酸ビニル共重合体、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン等のフィルム又はシートあるいはこれらの積層体、多孔質体、発泡体、紙、布及び不織布等よ

り選択される。

【0009】次に、本発明の消炎鎮痛貼付剤の製造法について説明する。まず、スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体、軟化剤、粘着付与剤及び充填剤等を適宜所定の割合で加え混合物となし、窒素気流中で加熱攪拌して溶解物とする。攪拌時の温度は 110～200℃であり、攪拌時間は30～120 分間である。

【0010】次に、薬効成分及びクロタミトンの混合物を前記溶解物の攪拌時の温度 110～200℃の範囲内で添加し 5～30分間混合して均一な溶解物を得る。次に、この溶解物をドクターロール、リバースロール等の展延機を用いて支持体に展延塗布する。支持体には合成樹脂*

*膜、紙、布、不織布等から選択して用いる。溶解物を支持体に展延塗布した後、その上に剥離被覆物を貼合するが、剥離処理をほどこした剥離紙、セロファン又はポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル等のフィルムから適宜選択できる。以上述べた製造法により本発明の貼付剤が得られる。

【0011】

【実施例】以下、実施例、試験例を挙げて本発明をより詳細に説明する。なお、実施例、比較例、参考例中、部とあるのはすべて重量部を意味する。

【0012】実施例1

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1107)	50.0 部
流動パラフィン	46.9 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
クロタミトン	1.0 部
4-ビフェニル酢酸	0.1 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ ※【0013】実施例2
に切断し貼付剤とした。 ※20

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1107)	5.0 部
流動パラフィン	35.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (脂環族飽和炭化水素樹脂) (商品名 アルコン P-100)	28.0 部
クロタミトン	20.0 部
4-ビフェニル酢酸	10.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ ★【0014】実施例3
に切断し貼付剤とした。 ★30

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1107)	26.0 部
流動パラフィン	42.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 RE-311)	15.0 部
クロタミトン	10.0 部
4-ビフェニル酢酸	5.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ 【0015】実施例4
に切断し貼付剤とした。 40

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1107)	12.5 部
スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	12.5 部
流動パラフィン	51.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 RE-311)	15.0 部
クロタミトン	5.0 部
4-ビフェニル酢酸	2.0 部

5

6

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ * 【0016】 実施例5
に切断し貼付剤とした。

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	25.0 部
流動パラフィン	52.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
クロタミトン	15.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	5.0 部
4-ビフェニル酢酸	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ ※ 【0017】 実施例6
に切断し貼付剤とした。

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	21.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.5 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	2.5 部
4-ビフェニル酢酸	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ ★ 【0018】 実施例7
に切断し貼付剤とした。

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	52.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	5.0 部
4-ビフェニル酢酸	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ ☆ 【0019】 実施例8
に切断し貼付剤とした。

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	18.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	49.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	10.0 部
4-ビフェニル酢酸	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさ 【0020】 実施例9
に切断し貼付剤とした。

スチレン-イソプレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	52.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部

7	8
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KR-311)	15.0 部
クロタミトン	5.0 部
4-ビフェニル酢酸エチル	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
*【0021】実施例10
に切断し貼付剤とした。

※	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	50.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KR-311)	15.0 部
クロタミトン	6.0 部
インドメタシン	2.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
※【0022】実施例11
に切断し貼付剤とした。

※	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	19.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	49.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KR-311)	15.0 部
クロタミトン	7.0 部
ケトプロフェン	3.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
★【0028】実施例12
に切断し貼付剤とした。

★	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	52.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KR-311)	15.0 部
クロタミトン	5.0 部
フルルビプロフェン	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
☆【0029】実施例13
に切断し貼付剤とした。

☆	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	19.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	49.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KR-311)	15.0 部
クロタミトン	7.0 部
ロキソプロフェンナトリウム	3.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
【0030】実施例14
切断し貼付剤とした。

9

10

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	52.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	5.0 部
ジクロフェナックナトリウム	1.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに 10*【0031】実施例15

切断し貼付剤とした。

*

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	50.0 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	6.0 部
ピロキシカム	2.0 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに ※【0032】実施例16

切断し貼付剤とした。

※

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	21.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.5 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	3.0 部
メロキシカム	0.5 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに ★【0033】実施例17

切断し貼付剤とした。

★

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	21.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.5 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0 部
クロタミトン	3.0 部
ベルモプロフェン	0.5 部

この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに 【0034】実施例18

切断し貼付剤とした。

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	21.0 部
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.5 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル)	15.0 部

11	12
(商品名 KE-311)	
クロタミトン	3.0 部
ロルノキシカム	0.5 部
この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに * 【0035】 実施例19	
切断し貼付剤とした。	
*	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体	21.0 部
(商品名 カリフレックス TR-1111)	
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.5 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル)	15.0 部
(商品名 KE-311)	
クロタミトン	3.0 部
ケトラック	0.5 部
この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに ※ 【0036】 実施例20	
切断し貼付剤とした。	
※	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体	23.0 部
(商品名 カリフレックス TR-1111)	
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.9 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル)	15.0 部
(商品名 KE-311)	
クロタミトン	1.0 部
フェンタニール	0.1 部
この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに ★ 【0037】 実施例21	
切断し貼付剤とした。	
★	
スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体	23.0 部
(商品名 カリフレックス TR-1111)	
ポリイソブチレン (エクソン化学製)	5.0 部
流動パラフィン	53.9 部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0 部
粘着付与剤 (ロジンエステル)	15.0 部
(商品名 KE-311)	
クロタミトン	1.0 部
エプタゾシン	0.1 部
この処方では上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに	
切断し貼付剤とした。	
【0038】 比較例1	
実施例7においてクロタミトンを除き後は同様な方法で 40	
貼付剤を得た。	
【0039】 試験例1 (薬物放出試験)	
実施例6、7、8、比較例1にて得られた貼付剤からの	
水中への薬物の放出試験を行い、貼付剤中からの薬物放	
出率を求めた。その結果を表1に示す。	
【0040】	
【表1】	

	4時間後の薬物放出率 (%)
実施例6	38.18±2.12
実施例7	46.28±3.36
実施例8	48.23±2.88
比較例1	22.85±1.05

【0041】試験例2（ヘアレスマウス皮膚透過試験）
 実施例7及び対照薬として既発売の4-ビフェニル酢酸
 含有軟膏（商品名：ナバゲルン軟膏）を用いヘアレスマ
 ウス皮膚透過試験を行い、8時間後の4-ビフェニル酢*

* 酸の皮膚透過量及び利用率（皮膚透過率）を求めた。そ
 の結果を表2に示す。

【0042】

【表2】

	皮膚透過量 (μg)	薬物投与量 (μg)	利用率 (%)
実施例7	13.68±0.87	116.82	11.7±0.7
ナバゲルン軟膏 (商品名)	7.45±1.69	235.99	3.05±0.7

【0043】

【作用】試験例1の薬物放出試験において、本発明のス
 テレンーイソブレンースチレンブロック共重合体、クロ
 タミトン及び消炎鎮痛薬を必須成分とする貼付剤は、ク
 ロタミトンを含有しない比較例の貼付剤との比較におい
 て約2倍の薬物放出率を示す。又、試験例2のヘアレス
 マウス皮膚透過試験において本発明の貼付剤は比較薬で
 ある市販薬（商品名：ナバゲルン軟膏）との比較におい
 て皮膚透過量で約2倍、利用率（皮膚透過率）で約4倍
 の作用を示した。又、本発明の貼付剤は物理的性質（接
 着力、投着力、凝集力、粘着性等）の面でも大変好まし

い作用を有した。

【0044】

【発明の効果】本発明の貼付剤は薬物放出性、皮膚透過
 量及び皮膚透過率に顕著な作用を有するため、高い薬効
 発現性が可能である又、薬効成分である消炎鎮痛薬の使
 用量が少なく済み経済的である。又、本発明の製剤は
 貼付剤であるのでゲル軟膏剤あるいは注射剤と違って長
 時間貼付でも安定的に薬物放出が可能で持続性に優れ
 る。このように本発明の貼付剤は薬物放出に最も適した
 製剤となり、医薬産業上大変有用である。

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁴

A 6 1 K 45/00
 //(A 6 1 K 31/19
 31:135)
 (A 6 1 K 31/215
 31:135)
 (A 6 1 K 45/00
 31:135)

識別記号

A B E

庁内整理番号

8415-4C

F I

技術表示箇所

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成11年(1999)5月18日

【公開番号】特開平4-321624

【公開日】平成4年(1992)11月11日

【年通号数】公開特許公報4-3217

【出願番号】特願平3-116732

【国際特許分類第6版】

A61K 9/70 341

352

31/135

31/19 AAH

31/215 ADA

45/00 ABE

//(A61K 31/19

31:135)

(A61K 31/215

31:135)

(A61K 45/00

31:135)

【F I】

A61K 9/70 341

352

31/135

31/19 AAH

31/215 ADA

45/00 ABE

【手続補正書】

【提出日】平成9年11月18日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体、クロタミトン及び消炎鎮痛薬を必須成分とする消炎鎮痛貼付剤。

【請求項2】 スチレン-イソフルン-スチレンブロック共重合体5～50重量%、クロタミトン1～20重量%及び消炎鎮痛薬0.1～10重量%を必須成分とする消炎鎮痛貼付剤。

【請求項3】 消炎鎮痛薬等が4-ビフェニル酢酸若しくはその塩または4-ビフェニル酢酸エチルエステルであることを特徴とする請求項1または請求項2の消炎鎮痛貼付剤。

【請求項4】 消炎鎮痛薬がインドメタシン、ケトプロフェン、フルルビプロフェン、ロキソプロフェンナトリ

ウム、ジクロフェナクナトリウム、ピロキシカム、メロキシカム、ベルモプロフェン、ロルノキシカム、ケトララク、フェンタニル、エブタゾシン、及び、それらの塩からなる群より選択されてなることを特徴とする請求項1または請求項2の消炎鎮痛貼付剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】尚、消炎鎮痛薬としては、すでに市販されている薬剤あるいは治験薬として臨床されている薬剤を意味し、例えば上記において説明した4-ビフェニル酢酸または4-ビフェニル酢酸エチルエステルは勿論のこと、その他の薬剤としてインドメタシン、ケトプロフェン、フルルビプロフェン、ロキソプロフェンナトリウム、ジクロフェナクナトリウム、ピロキシカム、メロキシカム、ベルモプロフェン、ロルノキシカム、ケトララク、モルヒネ、ブプレノルフィン、ブトルファノール、ペンタゾシン、フェンタニル、エブタゾシン等が挙げら

れる。尚、これらの薬剤についてはナトリウム塩以外の
医学的に許容される公知の無機塩又は有機塩からなる付
加塩にて形成されてもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

*

*【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正内容】

【0030】

実施例14

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	20.0	部
ポリイソブチレン(エクソン化学製)	5.0	部
流動パラフィン	52.0	部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0	部
粘着付与剤(ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0	部
クロタミトン	5.0	部
ジクロフェナクナトリウム	1.0	部

この処方で上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
切断し貼付剤とした。

※【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【手続補正4】

【補正内容】

【補正対象書類名】明細書

※

【0035】

実施例19

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	21.0	部
ポリイソブチレン(エクソン化学製)	5.0	部
流動パラフィン	53.5	部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0	部
粘着付与剤(ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0	部
クロタミトン	3.0	部
ケトラク	0.5	部

この処方で上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
切断し貼付剤とした。

☆【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【手続補正5】

【補正内容】

【補正対象書類名】明細書

☆

【0036】

実施例20

スチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体 (商品名 カリフレックス TR-1111)	23.0	部
ポリイソブチレン(エクソン化学製)	5.0	部
流動パラフィン	53.9	部
ブチルヒドロキシトルエン	2.0	部
粘着付与剤(ロジンエステル) (商品名 KE-311)	15.0	部
クロタミトン	1.0	部
フェンタニル	0.1	部

この処方で上記の製造法に従い作成し、所望の大きさに
切断し貼付剤とした。